



事務連絡
令和元年7月26日

建設業団体の長 殿

国土交通省土地・建設産業局建設業課長

国土地理院の地図における地下構造物の精度について（情報提供）

去る7月11日にJR九州長崎本線において、湧水対策井戸の試掘ボーリング工事のボーリングロッドがトンネルを突き抜け、列車と接触する事象が発生しました。同事象は、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発注の際に用いた国土地理院の地図におけるトンネルの位置が、実際のトンネルの位置と異なっていたことが原因の一つとされています。

国土地理院の地図に記載される道路及び鉄道の地下構造物については、一般的に、施設管理者から資料の提供を受け、地図に反映されており、地下構造物は、航空写真に写らず容易に確認作業ができないため、地上の構造物と比較して精度が低下している可能性があります。

建設業者におかれましては、国土地理院の地図を参考に施工される場合もあると思料いたしますが、国土地理院より別添のとおり情報提供がございましたので、お知らせいたします。

事務連絡
令和元年7月26日

土地・建設産業局 建設業課長 殿

国土地理院基本図情報部長

国土地理院の地図における地下構造物の精度について（情報提供）

去る7月11日にJR九州長崎線において、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発注した湧水対策井戸の試掘ボーリング工事のボーリングロッドがトンネルを突き抜け、列車と接触する事象が発生しました。同機構によれば、同機構が発注に用いた国土地理院の地図におけるトンネルの位置が、実際のトンネルの位置と異なっていたことが原因の一つとされています。

国土地理院の地図に記載している道路及び鉄道の地下構造物（トンネル内の経路等）については、一般的に、施設管理者から資料の提供を受け、地図に反映しています。地下構造物は、航空写真に写らず容易に確認作業ができないため、地上の構造物と比較して精度が低下している可能性があります。特に建設年次が古く、路線長が長く、直線でないものについて、より可能性が高いと考えています。

国土地理院の地図については、上記の点をご理解いただき注意して利用されるよう、貴課所管の関係団体に情報提供をお願いいたします。

担当：基本図情報部 国土基盤情報調整官
伊藤 裕之 TEL 029-864-6888(直通)